１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人新潟工科大学

（２）大　学　名

新潟工科大学

（３）大学の位置

〒９４５－１１９５
新潟県柏崎市藤橋１７１９番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ コイズミ　ハジメ ） 古泉　　肇 （平成２４年１２月）		
学　　長	（ ハセガワ　アキラ ） 長谷川　彰 （平成２３年４月）	（ オオカワ　ヒデオ ） 大川　秀雄 （平成２９年４月）	任期満了に伴い平成29年4月1日に変更(29)
学 部 長	（ ハセガワ　アキラ ） 長谷川　彰 （平成２３年４月）	（ オオカワ　ヒデオ ） 大川　秀雄 （平成２９年４月）	任期満了に伴い平成29年4月1日に変更(29)
学科長等	（ ナカジマ　シゲオ ） 中島　繁雄 （平成２７年４月）	（ コグチ　ヒデオ ） 古口　日出男 （平成２９年４月）	任期満了に伴い平成29年4月1日に変更(29)

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２７年度に報告済の内容　→（27）
平成２９年度に報告する内容　→（29）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２６年度開設の４年制の学科の場合（平成２９年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 工学科 学士（工学）	工学関係	年 4	人 200	年次 人 5	人 810	

（注）・　定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	200人　－人 200 （　－　） ［　－　］		200人　－人 200 （　－　） ［　－　］		200人　－人 200 （　5　） ［　－　］		200人　－人 200 （　5　） ［　－　］		0.69 倍	
志願者数	389 （－） ［－］	－ （－） ［－］	374 （－） ［－］	－ （－） ［－］	534 （3） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］		
受験者数	372 （－） ［－］	－ （－） ［－］	366 （－） ［－］	－ （－） ［－］	527 （3） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］		
合格者数	331 （－） ［－］	－ （－） ［－］	334 （－） ［－］	－ （－） ［－］	423 （3） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］		
Ｂ　入学者数	137 （－） ［－］	－ （－） ［－］	127 （－） ［－］	－ （－） ［－］	154 （2） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	0.68		0.63		0.77		－			

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　［　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	137 [－] (－)	－ [－] (－)	133 [－] (6)	－ [－] (－)	158 [－] (4)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			127 [－] (－)	[－] (－)	124 [－] (4)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					122 [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	137 [－] (－)		260 [－] (6)		404 [－] (8)		－ [－] (－)		

（注）・　数字は，平成２９年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成27年度入学者	137 人	13 人	平成27年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学(1人) 就職(1人) 経済的理由(1人) 学納金未納:除籍(1人)	9.48 %
			平成28年度	9 人	0 人	他の教育機関への入学(2人) 就職(1人) 就学意欲の低下(3人) 学生個人の心身に関する事情(3人)	
			平成29年度	－ 人	－ 人		
			平成30年度	－ 人	－ 人		
平成28年度入学者	127 人	3 人	平成28年度	3 人	0 人	就職(1人) 就学意欲の低下(1人) 進路変更:進学･就職未定(1人)	2.36 %
			平成29年度	－ 人	－ 人		
			平成30年度	－ 人	－ 人		
平成29年度入学者	154 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	－ 人	－ 人		
平成30年度入学者	－ 人	－ 人	平成30年度	－ 人	－ 人		－ %
合　計	418 人	16 人					3.82 %

（注）・ 数字は，平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）･就学意欲の低下　･学力不足　･他の教育機関への入学･転学　･海外留学　･就職　･学生個人の心身に関する事情　･家庭の事情　･除籍　･その他

２　授業科目の概要

＜工学部　工学科＞

（１）　授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
一般科目	基礎科目	新潟工科大学入門	１前	1				1				
		コンピュータリテラシ	１前	2				1				
		リーディング・ライティング基礎	１前		1		1	1 ~~2~~				負担軽減の観点から担当教員を減員(27)
	教養科目	技術者倫理	３後		2			1				
		知的財産法	~~３後~~ ３前		2						兼 1	教育効果を考慮し配当年次を変更(29)
	産学協同科目	キャリアデザインⅠ	１前	2							2 兼 ~~1~~	教育効果向上のため非常勤講師を追加(27)
		キャリアデザインⅡ	２後		2						兼 1	
		キャリアデザインⅢ	３後		2						兼 1	
		工学プロジェクトＡ	１通		1		1	1			2 兼 ~~1~~	教育効果向上のため非常勤講師を追加(29)
		工学プロジェクトＢ	２通		1		1	1			2 兼 ~~1~~	
		工学プロジェクトＣ	３通		1		1	1			2 兼 ~~1~~	
		工学プロジェクトＤ	４通		1		1	1			2 兼 ~~1~~	
		産業と大学	３通	1			1					
		職業実習	３通		2		1	3 ~~1~~		1	兼 1	教育効果向上のため担当教員を追加(29)
	自然科学系科目	基礎数理Ⅰ	１前	3				1 ~~2~~ ~~1~~		1 ~~1~~	兼 2 ~~兼 1~~	新採用教員の参加により非常勤講師を減員及び担当を変更(29)
		基礎数理Ⅱ	１後	3				1 ~~2~~ ~~1~~		1 ~~1~~	兼 2 ~~兼 1~~	教員退職のため担当者を変更(28) 教育効果向上のため非常勤講師を追加(27)
		基礎数理Ⅲ	２前		2			1			~~兼 1~~	新任教員の採用により担当を変更(29)
		基礎物理Ⅰ	１前	3			1	1				
		基礎物理Ⅱ	１後	3			1	1				
	英語科目	英語Ⅰ	１前	2			1	1		1		
		英語Ⅱ	１後	2			1	1		1		
		英語Ⅲ	２前		1		1	1				
		英語Ⅳ	２後		1		1	1				
		英語Ⅴ	３前		1		1	1				
		英語Ⅵ	３後		1		1	1				
		国際コミュニケーション英語Ⅰ	３前		1		1	1				
		国際コミュニケーション英語Ⅱ	３後		1		1	1				
	英語会話科目	オーラルコミュニケーションＡ	１前		1						兼 1	
		オーラルコミュニケーションＢ	１後		1						兼 1	
		オーラルコミュニケーションＣ	２前		1						兼 1	
		オーラルコミュニケーションＤ	２後		1						兼 1	
		オーラルコミュニケーションＥ	４前		1						兼 1	
		オーラルコミュニケーションＦ	４後		1						兼 1	
	環諸国理解科目（日本海・アジア）	ロシアⅠ	３前		2		1					
		ロシアⅡ	３後		2		1					
		中国Ⅰ	３前		2		1					
		中国Ⅱ	３後		2		1					
		韓国Ⅰ	３前		2						兼 1	
		韓国Ⅱ	３後		2						兼 1	
		アセアン諸国	２後		2		1					
		海外研修	２通		1		1					
	人文社会科学科目	政治学	２前		2		1					
		経済学	２前		2						兼 1	
		国際関係論	２後		2		1					
		西洋史Ａ	２後		2		1					
		西洋史Ｂ	３前		2		1					
		心理学Ａ	３前		2			1				
		心理学Ｂ	３後		2			1				
		経営学	３後		2						兼 1	
	保健体育科目	健康科学Ａ	２後		2					1		
		健康科学Ｂ	３前		2					1		
		体育実技Ａ	１前		1					1		
		体育実技Ｂ	１後		1					1		
		体育実技Ｃ	１後		1					1		
		体育実技Ｄ	１前		1					1		
	教職関連科目	日本国憲法	３前			2		1				
		職業指導	３前			2					兼 1	
		~~地球科学~~	~~２前~~			~~2~~					~~兼 1~~	教育職員免許状取得に係る課程が認定されなかったため科目廃止(27)
		~~情報倫理~~	~~３後~~			~~2~~		~~1~~				

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手		備考
専門科目	総合科目	工学概論	1前	2			~~5~~ 4	1					教員退職に伴いオムニバスの担当を変更(29)
		工学ゼミⅠ	1前	1			~~24~~ 21	~~12~~ 10		~~2~~ 7			負担軽減の観点から担当教員を減員及び新採用教員の参加(27)
		工学ゼミⅡ	1後	1			~~24~~ 21	~~12~~ 10		~~2~~ 7			
		工学ゼミⅢ	2前	1			~~21~~ 18	~~9~~ 8		~~1~~ 5			
		工学ゼミⅣ	2後	1			~~21~~ 18	~~9~~ 8		~~1~~ 5			教員退職に伴う減員及び新採用教員の参加(29)
		工学ゼミⅤ	3前	1			~~20~~ 18	~~9~~ 8		~~1~~ 5			新採用教員の参加(28)
		工学ゼミⅥ	3後	1			~~20~~ 18	~~9~~ 8		~~1~~ 5			新採用教員の参加(27)
		工学ゼミⅦ	4前	1			~~20~~ 18	~~9~~ 8		~~1~~ 5			
		工学ゼミⅧ	4後	1			~~20~~ 18	~~9~~ 8		~~1~~ 5			
		卒業研究	4通	8			~~20~~	~~9~~		~~1~~			
	専門共通科目	機械工作法	2前		2		~~1~~	1					新採用教員に担当を変更(27)
		機械の要素と機構	1後		2		1						
		コンピュータプログラミング	1後		3			2					
		デジタルコンテンツ	1後		2			2					
		地球環境とエネルギー	1前		2		4	1					
		建築デザイン概論	1後		2			1					
		住居学	2前		2			1					
		くらしの化学技術	1前		2		1	1					
		基礎化学	1後		2		1	1					
		電気工学基礎	1前		2		1	1					
		応用力学	2前		2		1						
		入門ＣＡＤ	2前		2		~~3~~ 2			1			教員退職に伴いオムニバスの担当を変更(29) 新採用教員の参加(28)
		ユニバーサルデザイン	1後		2		~~1~~					兼 1	教員退職に伴い非常勤講師を採用(29)
		地域防災工学	2後		2		2						
		品質管理	3前		2		1						
	基礎実験科目	工学基礎実験Ⅰ	1前	2			~~3~~ 7	2		~~1~~ 2			新採用教員の参加(29) 実験の内容を勘案してオムニバスの担当を変更(27)
		工学基礎実験Ⅱ	1後	2			~~11~~ 5	2		1			教員退職及び実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更(29)

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
専門科目	機械・素材科学系プログラム	学系科目	機械力学	２後		2		1						
			工業熱力学	２前		2		1						
			材料力学	２後		2		1						
			流体力学	２後		2			1					
			機械製図	２前		2		1						
			制御工学	２後		2		2						
			工業材料	２後		2		1						
			物理化学	２前		2		1						
			分析化学	２前		2		1						
			化学工学	２後		2		1						
			生化学	２後		2			1					
			有機化学Ⅰ	２前		2			1					
			無機化学	２前		2		1						
			高分子化学	２後		2		1						
		学系実験科目	機械・素材科学系実験Ⅰ	２前		2		2 ~~3~~ ~~9~~	2				兼 1	教員退職及び実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更 実験の内容を勘案してオムニバスの担当を変更(28)
			機械・素材科学系実験Ⅱ	２後		2		6 ~~8~~	1 ~~2~~				兼 1	教員退職及び実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更(29)
	知能機械・情報通信学系プログラム	学系科目	電気回路	２前		2		1						
			計算機回路	２前		2		~~1~~					兼 1	教員退職に伴い非常勤講師を採用(29)
			電子回路	２後		2			1					
			電気電子計測	２前		2		1						
			電磁気学	２後		2		1						
			パワーエレクトロニクス	３後		2							兼 1	
			機械力学	２後		2		1						
			工業熱力学	２前		2		1						
			材料力学	２後		2		1						
			流体力学	２後		2			1					
			機械製図	２前		2		1						
			制御工学	２後		2		2						
			工業材料	２後		2		1						
		学系実験科目	知能機械・情報通信学系実験Ⅰ	２前		2		1 ~~2~~ ~~6~~	2 ~~3~~				兼 1	担当者の業務形態の変更により担当を変更(27) 負担軽減の観点から担当教員を減員(29)
			知能機械・情報通信学系実験Ⅱ	２後		2		5 ~~6~~	1 ~~2~~		1		兼 1	実験の内容を勘案してオムニバスの担当を変更(28)
	建築・都市環境学系プログラム	学系科目	電気回路	２前		2		1						
			電気電子計測	２前		2		1						
			電磁気学	２後		2		1						
			パワーエレクトロニクス	３後		2							兼 1	
			環境化学	２前		2		1						
			建築環境工学	２後		2		1						
			建築設備	３前		2		1						
			建築基礎製図	２前		2		1	~~1~~					教員退職及び負担軽減の観点から担当を変更(29)
			建築計画学	２後		2			~~1~~		1			新採用教員に担当を変更(28)
			建築系ＣＡＤ	２後		2		1	~~1~~				兼 1	新採用教員の参加により関係科目の担当を変更(28)
			建築設計製図Ⅰ	２後		2			~~1~~ ~~2~~		1			教員退職に伴い担当を変更(29)
			コンクリート・土質構造	２後		2		1			1			新採用教員の参加(29)
			構造力学	２前		2					1			
			建築施工	３後		2					1			
			建築法規	３後		2							兼 1	
		学系実験科目	建築・都市環境学系実験Ⅰ	２前		2		2 ~~1~~			2 ~~1~~			実験の内容を勘案してオムニバスの担当を変更(28)
			建築・都市環境学系実験Ⅱ	２後		2		4			3 ~~2~~			新採用教員の追加(29)

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
専門科目	先進製造コースプログラム	コース科目Ⅰ類	機械ＣＡＤ	３前		2		1						
			テクニカルイラストレーション	３後		2		1						
			自動加工技術	３前		2			1					
			構造・機能性材料	３前		2		1						
			機械保全技術Ⅰ	３前		2		1						
			機械保全技術Ⅱ	３後		2		1						
			メカトロニクス	３後		2		1						
			立体造形	３後		2			1					
		コース科目Ⅱ類	固体力学	４前		2		~~1~~						教員退職により公募中、後任未定(29)
			振動学	４後		2		1						
			伝熱学	４前		2		1						
			技術英語	４前		2		1						
		コース実験科目	先進製造コース実験Ⅰ	３前		2		3 ~~4~~	~~1~~		1		兼 1	教員退職及び実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更(29)
			先進製造コース実験Ⅱ	３後		2		3 ~~5~~	2 ~~1~~					
	シミュレーションコースプログラム	コース科目Ⅰ類	機械ＣＡＤ	３前		2		1						
			テクニカルイラストレーション	３後		2		1						
			自動加工技術	３前		2			1					
			立体造形	３後		2			1					
			シミュレーション技術の基礎	３前		2		~~1~~			1			新採用教員に担当を変更(27)
			加工シミュレーション	４前		2		~~1~~	1					新採用教員に担当を変更(27)
			構造・伝熱シミュレーション	３後		2		~~1~~			1			新採用教員に担当を変更(27)
			熱・流体シミュレーション	３後		2		~~1~~			1			教育効果の向上のため担当を変更(29)
		コース科目Ⅱ類	固体力学	４前		2		~~1~~						教員退職により公募中、後任未定(29)
			振動学	４後		2		1						
			伝熱学	４前		2		1						
			技術英語	４前		2		1						
		コース実験科目	シミュレーションコース実験Ⅰ	３前		2		3 ~~4~~	~~1~~		1		兼 1	教員退職及び実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更(29)
			シミュレーションコース実験Ⅱ	３後		2		1 ~~3~~	1		1			
	化学バイオコースプログラム	コース科目Ⅰ類	食品化学	３前		2		~~1~~					兼 1	教員退職に伴い非常勤講師を採用(29)
			生体物質化学	３前		2		1						
			微生物工学	３前		2			1					
			有機化学Ⅱ	３前		2			1					
			機能性高分子材料	３後		2		1						
			機能性無機材料	３後		2		1						
			栄養学	３後		2		1						
			生体機能材料	３前		2		1						
			生物化学工学	３後		2		1						
			細胞機能化学	３後		1			1					
		コース科目Ⅱ類	分子生物学	３後		2		1						
			食品機能学	４前		2		1						
			技術英語	４前		2		1						
		コース実験科目	化学バイオコース実験Ⅰ	３前		2		3 ~~4~~	1					実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更(29)
			化学バイオコース実験Ⅱ	３後		2		2 ~~3~~	2					教員退職及び実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更(29)

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
専門科目	ロボティクスコースプログラム	コース科目Ⅰ類	自動制御	３前		2		1					
			ロボット工学	３後		2		1					
			フィールドロボット	４前		2			1				
			バイオメカニクス	３後		2		1					
			メカトロニクス	３後		2		1					
			自動加工技術	３前		2			1				
			モデルベースデザイン	３後		2			1				
			加工シミュレーション	４前		2		~~1~~	1				新採用教員に担当を変更(27)
			機械ＣＡＤ	３前		2		1					
			画像情報処理	３後		2			1				
		コース科目Ⅱ類	ロボット制御	４前		2		1					
			組込みシステム	４後		2		1					
			技術英語	４前		2		1					
		コース実験科目	ロボティクスコース実験Ⅰ	３前		2		5	1				兼 1
			ロボティクスコース実験Ⅱ	３後		2		2 ~~3~~	1				実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更(29)
	情報通信コースプログラム	コース科目Ⅰ類	アルゴリズムとデータ構造	３前		2		1					
			情報理論	３後		2		1					
			通信基礎	３前		2		~~1~~			1		新採用教員に担当を変更(27)
			通信理論	３後		2			~~1~~		1		新採用教員に担当を変更(27)
			伝送システム	３後		2		1					
			電波法規	３前		2							兼 1
			コンピュータアーキテクチャ	３前		2		~~1~~					兼 1 教育効果向上のため非常勤講師を採用(29)
			オペレーションシステム	３後		2			~~1~~		1		新採用教員に担当を変更(27)
			デジタル信号処理	３前		2		1					
			画像情報処理	３後		2			1				
		コース科目Ⅱ類	組込みシステム	４後		2		1					
			情報通信網	４前		2		1					
			技術英語	４前		2		1					
		コース実験科目	情報通信コース実験Ⅰ	３前		2		1 ~~2~~	1 ~~2~~		1		実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更(29) 担当者の業務形態の変更により担当を変更(27)
			情報通信コース実験Ⅱ	３後		2		2	1 ~~2~~				
	医療福祉工学コースプログラム	コース科目Ⅰ類	医学基礎	３前		2							兼 1
			バイオメカニクス	３後		2		1					
			医療福祉工学概論	３前		2		1					
			福祉住環境	３前		2			1				
			生体機能材料	３前		2		1					
			生体情報計測	３後		2			1				
			画像情報処理	３後		2			1				
			機械ＣＡＤ	３前		2		1					
			立体造形	３後		2			1				
			シミュレーション技術の基礎	３前		2		1					
		コース科目Ⅱ類	認知科学	４後		2		1					
			生体制御	４前		2		1					
			技術英語	４前		2		1					
		コース実験科目	医療福祉工学コース実験Ⅰ	３前		2		1 ~~4~~	2 ~~1~~ ~~2~~		1		実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更(29) 担当者の業務形態の変更により担当を変更(27)
			医療福祉工学コース実験Ⅱ	３後		2		3	1				

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
専門科目	建築コースプログラム	コース科目Ⅰ類	建築史	３前		2			1					
			福祉住環境	３前		2			1					
			建築設計製図Ⅱ	３前		2			1 ~~2~~		1			教員退職に伴い担当を変更(29)
			建築設計製図Ⅲ	３後		2			1				兼 1	
			建築構造学	３前		2					1			
			建築材料学	３後		2					2 ~~1~~			新採用教員の参加(29)
			建築構造力学・演習	３前		3		1						
			建築構法	４前		2		1						
			都市計画	３前		2			~~1~~		1			教員退職に伴い担当を変更(29)
			都市デザイン	３後		2			~~1~~		1			教員退職に伴い担当を変更(29)
			都市環境工学	３後		2		1						
			都市工学概論	４前		2							兼 1	
		コース科目Ⅱ類	建築設計製図Ⅳ	４前		2							兼 1	
			建築耐震設計	４前		2		1						
			雪と都市・建築	４後		2		1						
			技術英語	４前		2		1						
		コース実験科目	建築コース実験Ⅰ	３前		2		2 ~~1~~	~~1~~		3 ~~1~~			教員退職及び新任教員の参加、実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更(29)
			建築コース実験Ⅱ	３後		2		2			2 ~~1~~			新任教員の参加(29)
	都市環境エネルギーコースプログラム	コース科目Ⅰ類	電力エネルギー	３前		2		1						
			エネルギー変換機器	３後		2		1						
			放射線・原子力基礎	３前		2		1						
			環境分析化学	３前		2		1						
			環境アセスメント	３後		2		1						
			都市計画	３前		2			~~1~~		1			教員退職に伴い担当を変更(29)
			都市デザイン	３後		2			~~1~~		1			教員退職に伴い担当を変更(29)
			都市環境工学	３後		2		1						
			都市工学概論	４前		2							兼 1	
		コース科目Ⅱ類	環境シミュレーション	４前		2		1						
			雪と都市・建築	４後		2		1						
			技術英語	４前		2		1						
		コース実験科目	都市環境エネルギー実験Ⅰ	３前		2		3 ~~4~~			2 ~~1~~			実験内容を勘案してオムニバスの担当を変更(29)
			都市環境エネルギー実験Ⅱ	３後		2		2						

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２８年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
　なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画 必修	選択	自由			計（A）	変更状況 必修	選択	自由	計	備考
科目	科目	科目			科目	科目	科目	科目	科目	
22	185	4			211	22 [－]	185 [－]	2 [△2]	209 [△2]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

（注）・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	地球科学	2	２前	一般	自由	一般科目の「教職関連科目」の区分において、当初、教育職員免許状（高等学校教諭一種）の３免許取得を踏まえた科目を配置することとしたが、うち２免許の認定が事実上困難になったことから、当該免許に関連する２科目の開設を取り止めることとした。
2	情報倫理	2	３後	一般	自由	

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学は、工学科設置前の既存学科（４学科）で認められていた高等学校教諭一種免許状「工業」，「情報」，「理科」を新設の工学科でも継続して取得できることを希望し、設置届出の手続きと併せて教職課程免許申請を行ったが「情報」及び「理科」の教科は認定が困難であるとの文部科学省初等中等教育局の見解があり（平成26年7月）、やむを得ず、当面の間は「工業」のみ取得可能な教職課程とすることとした。
関係者への周知については、この結果を速やかに大学ＨＰに掲載し、受験者への周知を図るとともに入学後についても新入生ガイダンス等で重ねて周知を図った。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{2}{211} = \boxed{0.94}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	16,835 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	16,835 ㎡	
	運動場用地	17,215 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	17,215 ㎡	
	小計	34,050 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	34,050 ㎡	
	その他	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	
	合計	123,170 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	123,170 ㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		18,416 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	18,416 ㎡	
		（18,416 ㎡）	（0 ㎡）	（0 ㎡）	（18,416 ㎡）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	16 室	13 室	77 室	4 室 （補助職員　0 人）	0 室 （補助職員　0 人）	

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	工学部　工学科	45 室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	工学部 工学科	66,200〔17,000〕 (62,974〔16,730〕)	1,200〔370〕 （656〔245〕）	2,600〔2,550〕 （2,300〔2,291〕）	1,600 （1,419）	1,570 （1,625）	2 （2）	
	計	66,200〔17,000〕 (62,974〔16,730〕)	1,200〔370〕 （656〔245〕）	2,600〔2,550〕 （2,300〔2,291〕）	1,600 （1,419）	1,570 （1,625）	2 （2）	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	1,310 ㎡	151	75,000	

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	1,501 ㎡	テニスコート	

（8）経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り 区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
教員１人当り研究費等	580 千円	580 千円	図書購入費	600 千円	600 千円	600 千円
共同研究費等	90,000 千円	90,000 千円	設備購入費	1,150 千円	1,150 千円	1,150 千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,480 千円	1,280千円	1,280千円	1,280千円	－ 千円	－ 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２９年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（29）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	新潟工科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
≪ＡＣ対象学部等≫									
工学部									
工学科	4	200	3年次 5	810	学士 （工学）	0.69	平成27年度	新潟県柏崎市藤橋1719番地	
機械制御システム工学科	4	－	－	－	学士 （工学）	－	平成７年度	同上	平成27年より学生募集停止
情報電子工学科	4	－	－	－	学士 （工学）	－	平成７年度	同上	同上
環境科学科	4	－	－	－	学士 （工学）	－	平成20年度	同上	同上
建築学科	4	－	－	－	学士 （工学）	－	平成７年度	同上	同上
大学院工学研究科									
生産開発工学専攻								新潟県柏崎市藤橋1719番地	
博士前期課程	2	12	－	24	修士 （工学）	0.62	平成24年度		
博士後期課程	3	4	－	12	博士 （工学）	0.25	平成13年度		

大学の名称	ー								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２９年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜工学部　工学科＞

（１） 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 ~~(副学長)~~	中島　繁雄 （66）	平成27年４月	情報理論 伝送システム デジタル信号処理 情報通信網 知能機械・情報通信学系実験Ⅱ ~~産業と大学~~ ~~海外研修~~						
					専	教授 (副学長)	古口　日出男 （66）	平成29年４月	産業と大学 海外研修	教育効果向上を図るため新採用教員に担当者を変更(29)
				~~情報通信コース実験Ⅰ~~ ~~医療福祉工学コース実験Ⅰ~~	専	助教	海老澤　賢史 （39）	平成27年４月	情報通信コース実験Ⅰ 医療福祉工学コース実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
~~専~~	~~教授~~ ~~(副学長)~~	~~原　利昭~~ ~~（69）~~	~~同　上~~	~~ユニバーサルデザイン~~	兼任	講師	原　利昭 （70）	平成29年４月	ユニバーサルデザイン	平成29年3月に定年退職、平成29年4月より非常勤講師として採用(29)
専	教授	飯野　秋成 （49）	同　上	工学プロジェクトＡ，Ｂ，Ｃ，Ｄ 職業実習 建築環境工学 建築設備 建築基礎製図 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 建築コース実験Ⅱ 都市環境エネルギーコース実験Ⅱ						
					専	教授	飯野　秋成 （50）	平成27年４月	建築系ＣＡＤ	新任教員の参加により関連科目の担当を変更（28）
~~専~~	~~教授~~	~~一柳　孝司~~ ~~（46）~~	~~平成27年４月~~	~~栄養学~~ ~~食品機能学~~ ~~食品化学~~ ~~工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ~~ ~~卒業研究~~ ~~機械・素材科学系実験Ⅰ~~ ~~化学バイオコース実験Ⅱ~~	専	教授 (副学長)	門脇　基二 （65）	平成29年４月	栄養学 食品機能学	平成28年12月に自己都合により退職、新採用教員に担当を変更(29)
					兼任	講師	光永　伸一郎 （52）	平成29年４月	食品化学	平成28年12月に自己都合により退職、非常勤講師を採用(29)
					専	教授	藤木　一浩 （55）	平成27年４月	工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 機械・素材科学系実験Ⅰ 化学バイオコース実験Ⅱ	平成28年12月に自己都合により退職、担当者を変更(29)
専	教授	今田　剛 （48）	同　上	電力エネルギー エネルギー変換機器 放射線・原子力基礎 工学概論 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 知能機械・情報通信学系実験Ⅰ，Ⅱ 建築・都市環境学系実験Ⅱ 情報通信コース実験Ⅱ 都市環境エネルギーコース実験Ⅱ ~~通信基礎~~						
					専	助教	海老澤　賢史 （37）	平成27年４月	通信基礎	教育効果向上を図るため当該科目に関連した専門分野の新規採用教員に担当を変更(27)
					専	教授	今田　剛 （48）	平成27年４月	工学基礎実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(27)
専	教授	柿沼　藤雄 （63）	平成27年４月	基礎物理Ⅰ，Ⅱ 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅱ						
					専	教授	柿沼　藤雄 （63）	平成27年４月	工学基礎実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(27)
専	教授	門松　晃司 （62）	平成27年４月	応用力学 入門ＣＡＤ 機械力学 機械ＣＡＤ 振動学 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 機械・素材科学系実験Ⅱ 先進製造コース実験Ⅰ シミュレーションコース実験Ⅰ ~~加工シミュレーション~~ ~~機械・素材科学系実験Ⅰ~~ ~~シミュレーションコース実験Ⅱ~~						
					専	准教授	小林　義和 （47）	平成27年４月	加工シミュレーション	教育効果向上を図るため当該科目に関連した専門分野の新規採用教員に担当を変更(27)
					専	教授	竹園　恵 （50）	平成27年４月	機械・素材科学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	助教	笹川　圭右 （41）	平成27年４月	シミュレーションコース実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	金井　靖（55）	同　上	電気工学基礎 電気回路 電磁気学 アルゴリズムとデータ構造 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 知能機械・情報通信学系実験Ⅱ 建築・都市環境学系実験Ⅱ 情報通信コース実験Ⅰ ~~コンピュータアーキテクチャ~~						
					兼任	講師	角山　正博（70）	平成29年４月	コンピュータアーキテクチャ	教育効果の向上を図るため非常勤講師を採用(29)
専	教授	日下部　征信（46）	同　上	くらしの化学技術 無機化学 機能性無機材料 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅱ 機械・素材科学系実験Ⅱ 化学バイオコース実験Ⅰ						
専	教授	小山　良一（66）	平成27年４月	英語Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ 国際コミュニケーション英語Ⅰ，Ⅱ 工学ゼミⅠ，Ⅱ						
専	教授	斎藤　英一（62）	同　上	生体物質化学 生体機能材料 分子生物学 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 機械・素材科学系実験Ⅱ 化学バイオコース実験Ⅰ ~~工学基礎実験Ⅱ~~						
					専	教授	日下部　征信（46）	平成27年４月	工学基礎実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(27)
					専	教授	斎藤　英一（62）	平成27年４月	工学基礎実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(27)
					専	教授	斎藤　英一（64）	平成27年４月	医療福祉工学コース実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
専	教授	佐藤　栄一（45）	平成27年４月	地球環境とエネルギー 地域防災工学 制御工学 電気電子計測 生体制御 組込みシステム 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅱ 知能機械・情報通信学系実験Ⅱ ロボティクスコース実験Ⅰ 情報通信コース実験Ⅱ 医療福祉工学コース実験Ⅱ ~~知能機械・情報通信学系実験Ⅰ~~ ~~医療福祉工学コース実験Ⅰ~~						
					専	准教授	伊藤　建一（48）	平成27年４月	知能機械・情報通信学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
					専	准教授	黒木　宏一（36）	平成27年４月	医療福祉工学コース実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
専	教授	竹園　恵（49）	同　上	基礎化学 物理化学 化学工学 生物化学工学 技術英語 工学概論 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 機械・素材科学系実験Ⅰ 化学バイオコース実験Ⅱ						
専	教授	田村　良一（58）	同　上	地域防災工学 コンクリート・土質構造 建築構造力学・演習 建築構法 建築耐震設計 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅱ 建築・都市環境学系実験Ⅰ 建築コース実験Ⅰ，Ⅱ 都市環境エネルギーコース実験Ⅰ						
					専	教授	田村　良一（58）	平成27年４月	工学基礎実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(27)
					専	教授	田村　良一（59）	平成27年４月	建築・都市環境学系実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
~~専~~	~~教授~~	~~角山　正博（68）~~	~~平成27年４月~~	~~計算機回路~~ ~~工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ~~ ~~工学基礎実験Ⅱ~~ ~~知能機械・情報通信学系実験Ⅰ~~	兼任	講師	角山　正博（70）	平成29年４月	計算機回路	平成29年3月に定年退職、平成29年4月より非常勤講師として採用(29)
					専	教授	佐藤　栄一（47）	平成27年４月	工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ 工学基礎実験Ⅱ	平成29年3月に定年退職、担当教員を変更(29)
					専	准教授	伊藤　建一（47）	平成27年４月	知能機械・情報通信学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	寺島　正二郎（46）	同　上	機械の要素と機構 機械保全技術Ⅰ，Ⅱ バイオメカニクス 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 先進製造コース実験Ⅱ ロボティクスコース実験Ⅰ，Ⅱ 医療福祉工学コース実験Ⅱ ~~テクニカルイラストレーション~~ ~~医療福祉工学コース実験Ⅰ~~ ~~機械工作法~~ ~~工学基礎実験Ⅱ~~ ~~機械・素材科学系実験Ⅰ~~ ~~知能機械・情報通信学系実験Ⅰ~~						
					専	教授	吉本　康文（63）	平成27年４月	テクニカルイラストレーション	教育効果向上及び負担軽減の観点から担当教員を変更(29)
					専	教授	村上　肇（53）	平成27年４月	医療福祉工学コース実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
					専	准教授	小林　義和（47）	平成27年４月	機械工作法	教育効果向上を図るため当該科目に関連した専門分野の新規採用教員に担当を変更(27)
					専	教授	佐藤　栄一（45）	平成27年４月	工学基礎実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(27)
					専	教授	竹園　恵（50）	平成27年４月	機械・素材科学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	准教授	小林　義和（48）	平成27年４月	知能機械・情報通信学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
専	教授	富永　禎秀（47）	同　上	地球環境とエネルギー 入門ＣＡＤ 都市環境工学 雪と都市・建築 環境シミュレーション 工学概論 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅰ，Ⅱ 建築・都市環境学系実験Ⅱ 都市環境エネルギーコース実験Ⅰ						
					専	教授	富永　禎秀（49）	平成27年４月	建築コース実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を追加(29)
専	教授	中嶋　新一（66）	平成27年４月	制御工学 メカトロニクス 自動制御 ロボット工学 ロボット制御 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 先進製造コース実験Ⅱ ロボティクスコース実験Ⅰ，Ⅱ ~~工学基礎実験Ⅱ~~ ~~機械・素材科学系実験Ⅰ~~ ~~知能機械・情報通信学系実験Ⅰ~~						
					専	教授	柿沼　藤雄（63）	平成27年４月	工学基礎実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(27)
					専	教授	藤木　一浩（54）	平成27年４月	機械・素材科学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	准教授	小林　義和（48）	平成27年４月	知能機械・情報通信学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
専	教授	根村　亮（57）	同　上	リーディング・ライティング基礎 ロシアⅠ，Ⅱ 西洋史Ａ，Ｂ 工学ゼミⅠ，Ⅱ						
専	教授	判澤　純太（63）	同　上	中国Ⅰ，Ⅱ アセアン諸国 政治学 国際関係論 工学ゼミⅠ，Ⅱ						
専	教授	福崎　紀夫（66）	同　上	地球環境とエネルギー 環境化学 環境分析化学 環境アセスメント 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 機械・素材科学系実験Ⅱ 化学バイオコース実験Ⅰ 都市環境エネルギーコース実験Ⅰ ~~建築・都市環境学系実験Ⅱ~~						
					専	教授	田村　良一（59）	平成27年４月	建築・都市環境学系実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	教授	福崎　紀夫（67）	平成27年４月	建築・都市環境学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
専	教授	藤木　一浩（53）	平成27年４月	分析化学 高分子化学 機能性高分子材料 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅰ 機械・素材科学系実験Ⅰ 化学バイオコース実験Ⅱ ~~工学基礎実験Ⅱ~~ ~~機械・素材科学系実験Ⅱ~~ ~~化学バイオコース実験Ⅰ~~ ~~都市環境エネルギーコース実験Ⅰ~~						
					専	教授	田村　良一（58）	平成27年４月	工学基礎実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(27)
					専	准教授	原嶋　郁郎（63）	平成27年４月	機械・素材科学系実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
					専	教授	福崎　紀夫（68）	平成27年４月	化学バイオコース実験Ⅰ 都市環境エネルギーコース実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	村上　肇（51）	同　上	地球環境とエネルギー 品質管理 医療福祉工学概論 認知科学 工学概論 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 知能機械・情報通信学系実験Ⅱ ロボティクスコース実験Ⅰ 医療福祉工学コース実験Ⅰ ~~工学基礎実験Ⅱ~~ ~~機械・素材科学系実験Ⅰ~~ ~~知能機械・情報通信学系実験Ⅰ~~ ~~先進製造コース実験Ⅱ~~ ~~ロボティクスコース実験Ⅱ~~ ~~医療福祉工学コース実験Ⅱ~~						
					専	教授	富永　禎秀（47）	平成27年４月	工学基礎実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(27)
					専	教授	藤木　一浩（54）	平成27年４月	機械・素材科学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	准教授	小林　義和（48）	平成27年４月	知能機械・情報通信学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	教授	寺島　正二郎（48）	平成27年４月	先進製造コース実験Ⅱ ロボティクスコース実験Ⅱ 医療福祉工学コース実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
専	教授	村山　洋之介（63）	同　上	機械製図 工業材料 構造・機能性材料 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 機械・素材科学系実験Ⅱ 先進製造コース実験Ⅰ シミュレーションコース実験Ⅰ						
~~専~~	~~教授~~	~~山崎　泰広（43）~~	~~同　上~~	~~入門ＣＡＤ~~ ~~工学概論~~ ~~工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ~~ ~~卒業研究~~ ~~材料力学~~ ~~機械・素材科学系実験Ⅱ~~ ~~シミュレーション技術の基礎~~ ~~構造・伝熱シミュレーション~~ ~~先進製造コース実験Ⅰ~~ ~~シミュレーションコース実験Ⅰ~~ ~~機械・素材科学系実験Ⅰ~~ ~~先進製造コース実験Ⅱ~~ ~~シミュレーションコース実験Ⅱ~~ ~~固体力学~~	専	教授	門松　晃司（64）	平成27年４月	入門ＣＡＤ	平成29年3月に自己都合により退職、担当教員を変更(29)
					専	教授	村上　肇（53）	平成27年４月	工学概論 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究	平成29年3月に自己都合により退職、担当教員を変更(29)
					専	教授（副学長）	古口　日出男（66）	平成29年４月	材料力学	平成29年3月に自己都合により退職、担当教員を変更(29)
					専	教授	村山　洋之介（65）	平成27年４月	機械・素材科学系実験Ⅱ	平成29年3月に自己都合により退職、担当教員を変更(29)
					専	助教	笹川　圭右（39）	平成27年４月	シミュレーション技術の基礎 構造・伝熱シミュレーション	教育効果向上を図るため当該科目に関連した専門分野の新規採用教員に担当を変更(27)
					専	助教	笹川　圭右（41）	平成27年４月	先進製造コース実験Ⅰ シミュレーションコース実験Ⅰ	平成29年3月に自己都合により退職、担当教員変更(29)
					専	准教授	小林　義和（48）	平成27年４月	機械・素材科学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	准教授	小林　義和（49）	平成27年４月	先進製造コース実験Ⅱ シミュレーションコース実験Ⅱ	平成29年3月に自己都合により退職、担当教員変更(29)
							後任未定		固体力学	平成29年3月に自己都合により退職、平成29年10月から専任教員採用予定で公募中 4年次配当科目のため平成29年度は開講なし
専	教授	吉本　康文（61）	平成27年４月	工業熱力学 伝熱学 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅰ 機械・素材科学系実験Ⅱ 先進製造コース実験Ⅰ，Ⅱ シミュレーションコース実験Ⅰ，Ⅱ ロボティクスコース実験Ⅰ ~~熱・流体シミュレーション~~ ~~機械・素材科学系実験Ⅰ~~ ~~知能機械・情報通信学系実験Ⅱ~~						
					専	助教	笹川　圭右（41）	平成27年４月	熱・流体シミュレーション	教育効果の向上を図るため担当者を変更(29)
					専	准教授	小林　義和（48）	平成27年４月	機械・素材科学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	教授	村上　肇（52）	平成27年４月	知能機械・情報通信学系実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	教授	吉本　康文（63）	平成27年４月	テクニカルイラストレーション	教育効果の向上を図るため担当者を変更(29)
					専	教授（副学長）	古口　日出男（66）	平成29年４月	材料力学 産業と大学 海外研修	教員退職及び教育効果向上を図るため新採用教員に担当を変更(29)
					専	教授（副学長）	門脇　基二（65）	平成29年４月	栄養学 食品機能学	教員退職及び教育効果向上を図るため新採用教員に担当を変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	伊藤　建一（46）	同　上	コンピュータプログラミング 画像情報処理 生体情報計測 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅰ 知能機械・情報通信学系実験Ⅰ 情報通信コース実験Ⅰ 医療福祉工学コース実験Ⅰ，Ⅱ ~~通信理論~~ ~~知能機械・情報通信学系実験Ⅱ~~						
					専	助教	海老澤　賢史（37）	平成27年４月	通信理論	教育効果向上を図るため当該科目に関連した専門分野の新規採用教員に担当を変更(27)
					専	助教	海老澤　賢史（38）	平成27年４月	知能機械・情報通信学系実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	准教授	伊藤　建一（48）	平成27年４月	職業実習	教育効果の向上を図るため担当者を増員(29)
専	准教授	大金　一二（49）	同　上	流体力学 フィールドロボット モデルベースデザイン 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅱ 先進製造コース実験Ⅱ ロボティクスコース実験Ⅰ，Ⅱ ~~自動加工技術~~ ~~立体造形~~ ~~機械・素材科学系実験Ⅰ~~ ~~知能機械・情報通信学系実験Ⅰ~~						
					専	准教授	小林　義和（47）	平成27年４月	自動加工技術 立体造形	教育効果向上を図るため当該科目に関連した専門分野の新規採用教員に担当を変更(27)
					専	准教授	小林　義和（48）	平成27年４月	機械・素材科学系実験Ⅰ 知能機械・情報通信学系実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
専	准教授	小野寺　正幸（53）	同　上	地球環境とエネルギー くらしの化学技術 生化学 微生物工学 細胞機能化学 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅱ 機械・素材科学系実験Ⅰ 化学バイオコース実験Ⅱ						
専	准教授	黒木　宏一（34）	同　上	デジタルコンテンツ 建築デザイン概論 建築設計製図Ⅱ，Ⅲ 福祉住環境 建築史 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 ~~建築系ＣＡＤ~~ ~~建築設計製図Ⅰ~~						
					専	教授	飯野　秋成（50）	平成27年４月	建築系ＣＡＤ	新任教員の採用により関連科目の担当を変更（28）
					兼任	講師	栗原　一成（52）	平成27年４月	建築設計製図Ⅰ	新任教員の採用により関連科目の担当を変更（28）
					専	准教授	黒木　宏一（36）	平成27年４月	住居学	教員退職に伴い担当者を変更(29)
									医療福祉工学コース実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
専	准教授	竹野　茂治（49）	同　上	基礎数理Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 情報通信コース実験Ⅱ						
~~専~~	~~准教授~~	~~長　聡子（35）~~	~~同　上~~	~~住居学~~ ~~建築基礎製図~~ ~~工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ~~ ~~卒業研究~~ ~~建築計画学~~ ~~建築設計製図Ⅰ，Ⅱ~~ ~~都市計画~~ ~~都市デザイン~~ ~~建築コース実験Ⅰ~~	専	准教授	黒木　宏一（36）	平成27年４月	住居学	平成29年3月に自己都合により退職、担当者を変更(29)
					専	教授	飯野　秋成（51）	平成27年４月	建築基礎製図 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究	平成29年3月に自己都合により退職、担当者を変更(29)
					専	助教	倉知　徹（41）	平成28年４月	建築計画学	新任教員の採用により関連科目の担当を変更（28）
					専	助教	倉知　徹（42）	平成28年４月	建築設計製図Ⅰ，Ⅱ 都市計画 都市デザイン 建築コース実験Ⅰ	平成29年3月に自己都合により退職、担当者を変更(29)
専	准教授	橋本　圭子（49）	同　上	リーディング・ライティング基礎 心理学Ａ，Ｂ 工学ゼミⅠ，Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	花岡　明正（62）	同　上	新潟工科大学入門 技術者倫理 工学プロジェクトA，B，C，D 職業実習 日本国憲法 工学概論 ~~情報倫理~~ ~~リーディング・ライティング基礎~~ ~~工学ゼミⅠ~~ ~~同Ⅱ~~						
										教職課程免許教科「情報」取得のための科目であったが教職科目として認定ができなかったため科目を廃止（27）
					専	准教授	橋本　圭子（49）	平成27年４月	リーディング・ライティング基礎	負担軽減の観点から複数人教員が担当する講義科目の担当者を集中合理化(27)
					専	准教授	村上　世津子（52）	同　上	工学ゼミⅠ 同Ⅱ	負担軽減の観点から複数人教員が担当する演習科目の担当者を集中合理化(27)
専	准教授	原嶋　郁郎（61）	平成27年４月	基礎化学 有機化学Ⅰ，Ⅱ 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 機械・素材科学系実験Ⅱ 化学バイオコース実験Ⅰ，Ⅱ						
					専	准教授	原嶋　郁郎（63）	平成27年４月	職業実習	教育効果の向上を図るため担当者を増員(29)
専	准教授	村上　世津子（52）	同　上	英語Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ 国際コミュニケーション英語Ⅰ，Ⅱ 工学ゼミⅠ，Ⅱ						
専	准教授	吉田　宏二（安田　宏二）（47）	同　上	基礎物理Ⅰ，Ⅱ 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅰ ~~機械・素材科学系実験Ⅱ~~ ~~先進製造コース実験Ⅰ~~ ~~シミュレーションコース実験Ⅰ~~						
					専	教授	門松　晃司（64）	平成27年４月	機械・素材科学系実験Ⅱ 先進製造コース実験Ⅰ シミュレーションコース実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
専	准教授	渡邊　壮一（46）	同　上	コンピュータリテラシ コンピュータプログラミング デジタルコンテンツ 電気工学基礎 電子回路 ~~オペレーティングシステム~~ ~~工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ~~ ~~卒業研究~~ ~~知能機械・情報通信学系実験Ⅰ，Ⅱ~~ ~~情報通信コース実験Ⅰ~~ ~~医療福祉工学コース実験Ⅰ~~ ~~情報通信コース実験Ⅱ~~						
					専	助教	海老澤　賢史（37）	平成27年４月	オペレーティングシステム	教育効果向上を図るため当該科目に関連した専門分野の新規採用教員に担当を変更(27)
					専	准教授	伊藤　建一（46）	平成27年４月	工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 知能機械・情報通信学系実験Ⅰ，Ⅱ 情報通信コース実験Ⅰ 医療福祉工学コース実験Ⅰ	当該者の業務形態が初年次等の基礎学問教育の担当へ変更になったことから、演習及び実験・実習科目から外れることになった。(27)
					専	准教授	竹野　茂治（49）	平成27年４月	情報通信コース実験Ⅱ	
					~~専~~	~~准教授~~	~~渡邊　壮一（47）~~	~~平成27年４月~~	~~基礎数理Ⅰ，Ⅱ~~	~~教員退職のため担当教員を変更(29)~~ 教育効果向上を図るため新規採用教員に担当を変更(29)
					専	准教授	小林　義和（47）	平成27年４月	加工シミュレーション 機械工作法 自動加工技術 立体造形 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究	教育効果向上を図るため新規採用教員に担当を変更及び演習・卒業研究の科目に参加(27)
					専	准教授	小林　義和（48）	平成27年４月	機械・素材科学系実験Ⅰ 知能機械・情報通信学系実験Ⅰ，Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	准教授	小林　義和（49）	平成27年４月	先進製造コース実験Ⅱ シミュレーションコース実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	五十嵐　賢次（50）	平成27年４月	建築施工 建築構造学 建築材料学 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究 工学基礎実験Ⅰ，Ⅱ 建築・都市環境学系実験Ⅰ 建築コース実験Ⅰ，Ⅱ 都市環境エネルギーコース実験Ⅰ ~~構造力学~~						
					専	助教	涌井　将貴（29）	平成29年４月	構造力学	新任教員の採用により担当を変更(29)
					専	助教	五十嵐　賢次（51）	平成27年４月	建築・都市環境学系実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	助教	五十嵐　賢次（52）	平成27年４月	職業実習	教育効果の向上を図るため担当者を増員(29)
専	助教	上島　慶（29）	平成27年４月	健康科学Ａ，Ｂ 体育実技Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ 工学ゼミⅠ，Ⅱ						
~~専~~	~~助教~~	~~本村　健志（40）~~	~~同　上~~	~~基礎数理Ⅰ，Ⅱ~~	~~専~~	~~准教授~~	~~渡邊　壮一（47）~~	~~平成27年４月~~	~~基礎数理Ⅰ，Ⅱ~~	~~平成27年6月に自己都合により退職、担当教員を変更(29)~~ 教育効果向上を図るため新採用教員に担当を変更(29)
専	助教	小湊　彩子（40）	平成27年４月	英語Ⅰ，Ⅱ						
					専	助教	海老澤　賢史（37）	平成27年４月	通信基礎 通信理論 オペレーティングシステム 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究	教育効果向上を図るため新規採用教員に担当を変更及び演習・卒業研究の科目に参加(27)
					専	助教	海老澤　賢史（38）	平成27年４月	知能通信・情報通信学系実験Ⅱ 建築・都市環境学系実験Ⅱ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(28)
					専	助教	海老澤　賢史（39）	平成27年４月	情報通信コース実験Ⅰ 医療福祉工学コース実験Ⅰ	実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
					専	助教	笹川　圭右（39）	平成27年４月	シミュレーション技術の基礎 構造・伝熱シミュレーション 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究	教育効果向上を図るため新規採用教員に担当を変更及び演習・卒業研究の科目に参加(27)
					専	助教	笹川　圭右（41）	平成27年４月	熱・流体シミュレーション	教育効果の向上を図るため担当者を変更(29)
									先進製造コース実験Ⅰ シミュレーションコース実験Ⅰ，Ⅱ	教員退職及び実験の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
					専	助教	倉知　徹（41）	平成28年４月	入門ＣＡＤ 建築計画学 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究	教育効果向上を図るため新規採用教員に担当を変更及び演習・卒業研究の科目に参加(28)
					専	助教	倉知　徹（42）	平成28年４月	建築設計製図Ⅰ，Ⅱ 都市計画 都市デザイン 建築コース実験Ⅰ	教員退職及び実験実習の内容を勘案してオムニバスの担当者を変更(29)
					専	助教	涌井　将貴（29）	平成29年４月	構造力学 コンクリート・土質構造 建築材料学 工学基礎実験Ⅰ 建築・都市環境学系実験Ⅰ，Ⅱ 建築コース実験Ⅰ，Ⅱ 都市環境エネルギーコース実験Ⅰ 工学ゼミⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，Ⅶ，Ⅷ 卒業研究	教育効果向上を図るため新採用教員に担当を変更及び実験・演習・卒業研究科目に参加(29)
					専	助教	冨澤　佑季乃（31）	平成29年４月	基礎数理Ⅰ，Ⅱ 工学ゼミⅠ，Ⅱ	教育効果向上を図るため新採用教員に担当を変更及び演習科目に参加(29)
兼任	講師	阿部　雅明（44）	平成27年４月	経済学						
兼任	講師	栗原　一成（51）	同　上	建築法規 建築設計製図Ⅳ ~~建築設計製図Ⅲ~~						
					兼任	講師	俵山　博文（66）	平成29年４月	建築設計製図Ⅲ	負担軽減の観点から非常勤講師を採用(29)
					兼任	講師	栗原　一成（52）	平成27年４月	建築設計製図Ⅰ	新任教員の参加により関連科目の担当を変更（28）
兼任	講師	黒田　勇治（66）	平成27年４月	知的財産法						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	斎藤　和夫（62）	同　上	パワーエレクトロニクス						
兼任	講師	Jerry Molt（54）	同　上	オーラル・コミュニケーションA，B，C，D，E，F						
兼任	講師	高橋　茂夫（57）	同　上	経営学						
兼任	講師	蓮池　薫（57）	同　上	韓国Ⅰ，Ⅱ						
兼任	講師	長谷川　槇一（64）	同　上	電波法規						
兼任	講師	長谷川　次郎（64）	同　上	キャリアデザインⅠ，Ⅲ 工学プロジェクトA，B，C，D 職業実習 ~~キャリアデザインⅡ~~	兼任	講師	小林　久隆（66）	平成27年４月	キャリアデザインⅡ	負担軽減の観点から担当者を変更(29)
兼任	講師	藤田　昇（67）	同　上	機械・素材科学系実験Ⅰ，Ⅱ 知能機械・情報通信学系実験Ⅱ 先進製造コース実験Ⅰ シミュレーションコース実験Ⅰ ロボティクスコース実験Ⅰ						
~~兼任~~	~~講師~~	~~吉原　久夫（66）~~	~~同　上~~	~~基礎数理Ⅰ，Ⅱ~~ ~~基礎数理Ⅲ~~	専	助教	冨澤　佑季乃（31）	平成29年４月	基礎数理Ⅰ，Ⅱ	教育効果向上を図るため新採用の専任教員に担当を変更(29)
					専	准教授	竹野　茂治（51）	平成29年４月	基礎数理Ⅲ	新採用教員の参加により関連科目の担当を変更(29)
兼任	講師	松井　賢二（52）	同　上	職業指導						
~~兼任~~	~~講師~~	~~大場　孝信（65）~~	~~同　上~~	~~地球科学~~						教職課程免許教科「理科」取得のための科目であったが教職科目として認定ができなかったため科目を廃止（27）
兼任	講師	三宅　仁（63）	同　上	医学基礎						
兼任	講師	青木　泰伸（63）	同　上	都市工学概論						
					兼任	講師	小林　久隆（64）	平成27年４月	キャリアデザインⅠ	教育効果の向上を図るため講義を担当する非常勤講師を増員(27)
					兼任	講師	小林　久隆（66）	平成27年４月	キャリアデザインⅡ	負担軽減の観点から関連科目の担当者を変更(29)
									工学プロジェクトA，B，C，D	教育効果の向上を図るため担当者を増員(29)
					~~兼任~~	~~講師~~	~~斎藤　吉助（65）~~	~~平成27年４月~~	~~基礎数理Ⅰ~~ ~~基礎数理Ⅲ~~	~~教育効果の向上を図るため講義を担当する非常勤講師を増員(27)~~ 教育効果向上を図るため新採用の専任教員に担当を変更(29)
					兼任	講師	原　利昭（70）	平成29年４月	ユニバーサルデザイン	教育効果の向上を図るため非常勤講師を採用(29)
					兼任	講師	角山　正博（70）	平成29年４月	計算機回路 コンピュータアーキテクチャ	教育効果の向上を図るため非常勤講師を採用(29)
					兼任	講師	光永　伸一郎（52）	平成29年４月	食品化学	教育効果の向上を図るため非常勤講師を採用(29)

（注）・　申請書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２９年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
　なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
35 名	18 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ａ）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ｂ）
27	14	0	6	47	24	12	0	8	44	27	14	0	6	47
（ 26 ）	（ 13 ）	（ 0 ）	（ 6 ）	（ 45 ）						［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］	［ 0 ］

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の５月１日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（Ａ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｂ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
平成28年度から段階的に引き下げ ~~70~~ 65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成２９年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお,職位等によって定年年齢が異なる場合には,職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし				

合計（A）			後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	－　科目	必修　－　科目	必修　－　科目	必修　－　科目
	選択	－　科目	選択　－　科目	選択　－　科目	選択　－　科目
	自由	－　科目	自由　－　科目	自由　－　科目	自由　－　科目
	計	－　科目	計　－　科目	計　－　科目	計　－　科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	木村　健志	必修	基礎数理Ⅰ	①	自己都合（28）
			必修	基礎数理Ⅱ	①	
2	教授	原　利昭	選択	ユニバーサルデザイン	②	定年退職（29）
3	教授	一柳　孝司	必修	工学ゼミⅠ	①	自己都合（29）
			必修	工学ゼミⅡ	①	
			必修	工学ゼミⅢ	①	
			必修	工学ゼミⅣ	①	
			必修	工学ゼミⅤ	①	
			必修	工学ゼミⅥ	①	
			必修	工学ゼミⅦ	①	
			必修	工学ゼミⅧ	①	
			必修	卒業研究	①	
			選択	栄養学	①	
			選択	食品機能学	①	
			選択	食品化学	②	
			選択	機械・素材科学系実験Ⅰ	①	
			選択	化学バイオコース実験Ⅱ	①	
4	教授	角山　正博	必修	工学ゼミⅠ	①	定年退職（29）
			必修	工学ゼミⅡ	①	
			必修	工学ゼミⅢ	①	
			必修	工学ゼミⅣ	①	
			必修	工学基礎実験Ⅱ	①	
			選択	計算機回路	②	
5	教授	山崎　泰広	必修	工学概論	①	自己都合（29）
			必修	工学ゼミⅠ	①	
			必修	工学ゼミⅡ	①	
			必修	工学ゼミⅢ	①	
			必修	工学ゼミⅣ	①	
			必修	工学ゼミⅤ	①	
			必修	工学ゼミⅥ	①	
			必修	工学ゼミⅦ	①	
			必修	工学ゼミⅧ	①	
			必修	卒業研究	①	
			選択	入門ＣＡＤ	①	
			選択	材料力学	①	
			選択	固体力学	③	
			選択	機械・素材科学系実験Ⅱ	①	
			選択	先進製造コース実験Ⅰ	①	
			選択	先進製造コース実験Ⅱ	①	
			選択	シミュレーションコース実験Ⅰ	①	
			選択	シミュレーションコース実験Ⅱ	①	

6	准教授	長　　聡子	必修	工学ゼミⅠ	①	自己都合（29）
			必修	工学ゼミⅡ	①	
			必修	工学ゼミⅢ	①	
			必修	工学ゼミⅣ	①	
			必修	工学ゼミⅤ	①	
			必修	工学ゼミⅥ	①	
			必修	工学ゼミⅦ	①	
			必修	工学ゼミⅧ	①	
			必修	卒業研究	①	
			選択	住居学	①	
			選択	建築基礎製図	①	
			選択	建築設計製図Ⅰ	①	
			選択	建築設計製図Ⅱ	①	
			選択	都市計画	①	
			選択	都市デザイン	①	
			選択	建築コース実験Ⅰ	①	

合計（C）				後任補充状況の集計（D）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
6　人	必修	35	科目	必修	35	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	22	科目	選択	18	科目	選択	3	科目	選択	1	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	57	科目	計	53	科目	計	3	科目	計	1	科目

（注）・　一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（A）＋（C）				後任補充状況の集計（B）＋（D）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
6　人	必修	35	科目	必修	35	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	22	科目	選択	18	科目	選択	3	科目	選択	1	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	57	科目	計	53	科目	計	3	科目	計	1	科目

（注）・　就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について，教員数、担当科目数の合計，後任補充の状況を記入ください。

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

4年次配当科目「固体力学」は平成30年度からの開講予定であり、現在、後任の専任教員を公募中である。その他の科目については専任教員で担当科目を調整、又は非常勤講師を採用し、学生の修学への影響が無いよう配慮した。
学生への周知については、授業時間割表の掲示及び電子配信により実施した。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
設　置　時 （平成27年４月）	該当なし			
設置計画履行状況調　査　時 （平成28年２月）	工学部工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	新潟県内を中心とする定期的な高校訪問や進学説明会を実施し、高校教員及び高校生ともに学科改組の情報浸透を図っている。 また、ホームページにおける紹介ページをリニューアルするとともに動画等を活用して特長や専門分野の理解が深まるよう改善した。 その結果、資料請求登録者数は前年度に比して25%増加した。しかし、全国的な理工系進学希望者の減少の影響を受け、出願者数は前年度に比して4%減少し、入学者127名に留まった。	新潟県産業界がつくった大学の特色を活かし、教育研究面だけでなく、学生募集においても産業界との密接な協力により、産学一体となった学生募集活動を展開する。 具体的には、新潟県の高校生及びその保護者各100人を抽出して実施したアンケート調査において、新潟県内の大学と比しても本学の認知度が低かったことから、大手広告代理店と提携し、マスメディアを活用した募集活動を拡大する。 また、現在進めている教育改革（平成26年度「大学教育再生加速プログラム」採択）が本格運用されることから、工学部工学科の専門分野や教育課程と併せて、本学の特長として情報を発信していく。 この他にも、高大連携事業を増加させ、高校生との接点を増やすなど、既存活動で効率・効果が高いものを拡大することで認知度の向上を図り、出願者増加につなげる。
設置計画履行状況調　査　時 （平成29年２月）	工学部工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	新潟県内を中心とした高校訪問及び進学説明会を継続した他、マスメディアを活用した学生募集活動を展開し、学科改組及び大学教育再生加速プログラムによる教育改革について、情報の浸透を図った。 その結果、出願者数は前年度比43%増、入学者数は21%増となり、回復の傾向となった。	学生募集活動について、従来から取り組んできた「大学教育再生加速プログラム（高大接続改革推進事業）」による更なる推進、新潟県産業界との連携強化等により、本学の取り組みが更に広く理解されるよう情報発信を継続し、出願者の増加及び入学定員の充足を目指す。

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。
・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。
・　同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。
・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜工学部　工学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
変　更　な　し	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については
適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

・新潟工科大学工学部ＦＤ委員会を設置（平成19年４月設置）・・・別紙、添付資料のとおり

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・委員は既設学科（教養科含む）教員から選出する他、教育センター長、教育センター事務室長で構成。

・平成28年度は計4回開催し、全回において2／3以上の委員の出席があり、成立した。

ｃ　委員会の審議事項等

・教育改善研修会の計画、立案、実施

・学生による授業評価アンケートの実施、結果分析及びフィードバック

②　実施状況

ａ　実施内容

教育改善研修会の開催

ｂ　実施方法

本学では、『アクティブラーニング』及び『授業へのICT活用』の推進を目指し、平成28年度からは、在学生全員へタブレット端末を配布した。これに伴い、専任教員のアクティブラーニング手法やICT関連スキルの向上を図るため、グループワークと活用事例報告会を実施することとした。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

・教育改善研修会１（平成28年9月に開催）

グループワーク「授業参観から学ぶアクティブラーニング」を実施した。専任教員には事前に他教員授業の参観を課し、6グループに分かれて、各々のテーマに基づき討論を行った。
専任教員については全員参加を原則とし、教員の参加率は72.3%であった。

・教育改善研修会２（平成28年12月に開催）

在学生全員に配布したタブレット端末の積極的活用を図るため、「授業におけるICT活用報告会」と題し、電子教科書や電子黒板、LMS（講義支援システム）等の本学における活用事例について報告、共有した。
専任教員については全員参加を原則とし、教員の参加率は74.5%であった。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

○在学生全員に配布したタブレット端末の積極的な活用を促し、電子教材の導入による教育効果及び教育効率の向上等について学び、授業改善の参考とした。

○授業におけるグループワークやプレゼンテーション等、アクティブラーニングの拡大を進める他、ルーブリック評価の導入による教育効果や授業改善について共有した。

○継続的な教育改善研修会の実施により、教員相互の情報交換及び教育能力の向上へ繋げる。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

前期・後期の各第12週～15週の授業時に実施

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

教員に対しては集計結果のデータを配布、学生には大学ホームページへの掲載により公表。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現代社会が本学に求める人材像としては、社会、特に日本を支える地域産業が求める高度な専門分野の知識と技術を修得させるとともに、多様性の時代であるこの現代に対応できる、関連する分野にも見識を持った「ものづくり人材」であると考えている。

これまで本学は、高度な専門知識と技術の修得をなによりも優先し、入学から卒業に至るまで、機械、情報などの専門分野に特化した各学科においてその分野を究める教育を行ってきた。
しかし、工学分野における総合能力の修得が第一であると考えると、特定の分野に偏らずに工学技術者として必要な科目を学び、学生が職業としたい専門技術者の分野によらず役に立つ知識と技術を、まず身に付けさせることが重要であると考えた。
そこで、全ての学生が、工学の様々な分野の科目を横断的に学修できる教育課程を提供するために、総合的な学科として工学科を設置することとした。

その大きな特徴として、入学時においては１つの分野に特化することなく、広く工学知識等を学び、各々の学修の進捗とともに、学生自身が徐々に希望する分野を絞っていくことが挙げられる。
具体的には、工学科に入学し、２年次進級時に３つの学系プログラムから１つを選択、３年次進級時にさらに細分化した８コースから専門とする分野を選んでいく教育課程を整備した。

結果的には、平成２９年度も入学定員の充足は果たせず、開設から３年連続の未充足となったことは、大変遺憾であり、入学定員の確保が最重要課題であると認識している。この要因は、依然として続く全国的な理工系希望者の減少傾向や、工業系高校の好調な就職事情等が影響していると考えられる。

しかしながら、入学者数は前年度比２１％増となり入学定員充足率は７７％まで回復した他、出願者数も前年度比４３％増と、回復の傾向が見て取れる。これは、マスメディアを活用した積極的な学生募集活動を展開した結果であり、本学の特徴である選択学系・コースに応じた専門分野の修得と、関連する幅広い分野を同時に学ぶフレキシブルなカリキュラムが、理解されてきたものと思われる。
また、今後も大学教育再生加速プログラム（高大接続改革推進事業）による継続的な教育改革の取り組みを推進し、入学者増に繋がっていくことを期待している。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・平成２７年５月１日　公表

ｂ　公表方法

・大学ホームページ上に公開

③　認証評価を受ける計画

・平成26年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受審。結果、大学基準協会の大学基準に適合していると認定。認定期間（平成34年３月31日まで）

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（　平成２９年６月１日頃の予定　）